

野蒜復興新聞

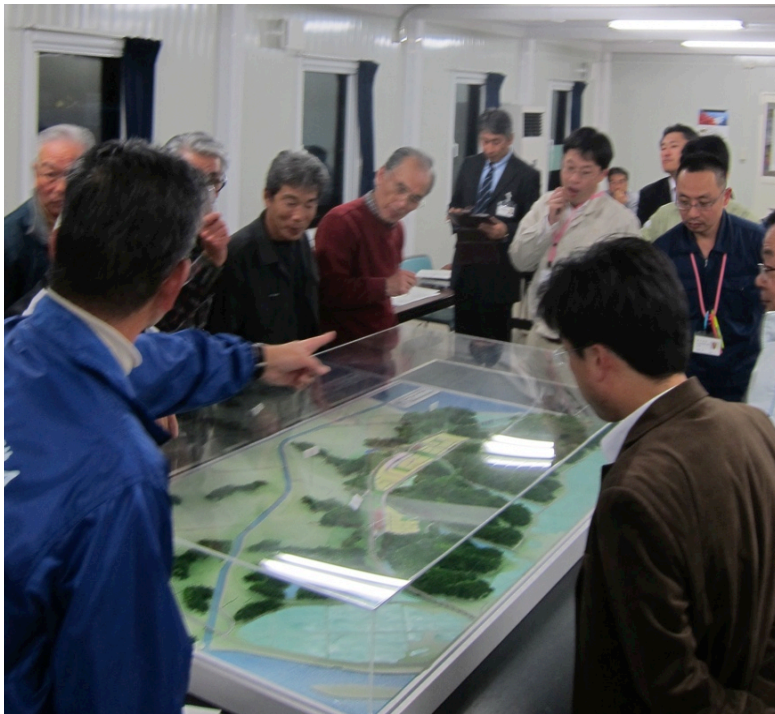
医療福祉部会 地域包括ケア実現に 各部署連携必須

11月6日、野蒜地区復興協議会の医療福祉部会が開催され、部会員、市職員、医療関係者で地域医療等について協議しました。今後集団移転先へ医療・福祉・介護の対策はもちろん、現在の野蒜地区に居住している住民への対応もできないものか、ひびき仮設団地でクリニックを運営する北原ライフサポートクリニックの職員にも加わっていただき協議を継続しています。

現在の野蒜地区で医療を実施していくための課題としては、場所の確保や提供を受けられるか、その場所が保健所の認可が得られるのか、医師などの確保が可能か、住民のニーズに答えられるのか、他の医療関係機関との連携がはかれるのか、などが挙げられました。集団移転先の課題だけではなく、現在の課題双方に対応できるように今後も協議を続けて参ります。



復興部会 高台整備計画と土地利用計画 並行推進



今年度第8回目の復興部会が11月19日に開催され、部会員と市関係者合わせて約25名で協議しました。このたびの部会には県東部土木事務所から職員や関係者も参加し、堤防や道路の工事計画の進捗状況などの説明を受けました。説明によると野蒜海岸沿いの道路は洲崎復興道路ということで堤防併用の道路を、また東名運河沿いの道路も同様に堤防併用の道路を、双方とも28年度内完成にむけて実施していくということでした。

また部会ではUR都市機構からお借りした、高台移転先の模型図を見ながら今後の土地利用計画(案)について協議しました。着々と工事が進んでいる集団移転先の造成地ですが、それと並行して跡地利用計画(案)も推進していくよう双方の情報などを共有しながら協議しております。また利用計画などまとまり発進できる段階でお伝えできるよう協議してまいります。

高台移転部会 全体会と抽選会に向けたとりまとめ

11月16日に第9回高台移転部会、11月20日に店舗併用住宅希望者会議、11月22日に高台移転部会現地視察を実施しました。第9回高台移転部会では今年4月から毎月実施してきた部会での検討経緯を、12月8日に予定されている全体会議で説明するため、今とりのとりまとめを行いました。今後の予定としては12月に全体会での説明と画地位置決めに関する説明会。来年1月から画地位置決め抽選の開始を予定しております。

店舗併用住宅希望者会議では「住宅と地域産業が調和したまちづくり」を目指しており、今まで実施した希望者意向確認の概要を共有し、それに伴う問題点（建設制限される用途や希望エリアの分散など）を協議しました。

実施した現地視察では同じ「特別名勝松島」の規制の異なる利府葉山ガーデンズポイント、富谷スマートコミュニティ、明石台のまちなみやルミールなどの円滑な環境実現のため、人と画地の境界の事前集約の設置など街並のイメージだけでなくまちづくりのヒントも得られ、今後の協議に活かしてまいります。



利府葉山のまちなみを視察中の高台移転部会 11/22

